

題材限りある水を大切に

私たち日本人にとって水は特別な思い入れがあると感じます。産まれてすぐにかかる産湯から、七くなるときに取る死に水と、日本人と水には一生のつながりがあります。また、日本にはわびさびの文化があり、古来より水をテーマにした和歌や芸術作品が多数残されています。これは水が日本人にとって身近な存在であり、身も心も癒やしてくれるものであつたといふことがいえます。現代では、私達の日常生活の中で、飲み水や炊事、洗濯、風呂、水洗トイレの他、飲食店や商業施設などでたくさんの水が色々な目的で使われていきます。古来から現代に至るまで水は日本人の暮らしを支えているのです。このように、生活を潤し、支えるものとして、いう印象を、私は水に対して抱きますが、世界に目を向けると、それが決して一般的な考えでないことが分かります。例えば、発展途上国アフリカでは、不衛生な水が現在大きな問題となつています。アフリカは、水道施設

20×20

題材限りある水を大切に

などのインフラが整備されておらず、池や川へ水汲みに行かなくてはなりません。その担い手として働かされる子供達が一日の大半を削って汲んだ水も茶色く濁っており、その水が原因で毎日800人以上の子供が命を落としていきます。アフリカの人々にとって水は「命を奪う水」なのです。水に対して楽観的な印象を持てるのは、水道に恵まれた日本だからこそなのだと感じました。では、196か国ある世界で衛生的な水道が使用できる国はどれぐらいなのでしょう。私が調べたところ、わずかに9か国しかないそうです。日本のように蛇口を捻れば衛生的で美味しい水が飲め、使えるところというのは決して当たり前ではないのです。これをふまえて考えると、日本の水事情はとても充実していると思います。雨に恵まれ、特有の地形や連なる山脈のおかげで水が手に入り、さらにそれを高い浄水技術によって安心・安全な水に変えることができるのです。そして何より上下水道の整備がしつ

一年一組三十一番

氏名 横須賀 絵莉

題材限りある水を大切に

かりと行き届いていること、これにより、水を
を使う・綺麗にする・供給するといふ三つの
要素が循環し、水を無駄なく使用でき、水道
料金のコストも削減できるのです。
このように水に恵まれた環境にいられるこ
とに感謝の気持ちを持つことはもちろん大切
だと思えます。しかし、それで満足してしま
ってはいけないのではないでしょう。近年
は地球温暖化の進行による異常気象が深刻化
しています。水道の水源である雨が降らず、
湧水に落ち入ってもおかしくはありません。
また、都市開発による森林伐採が、緑のダ
ムと呼ばれる森林を減少させ、水不足の原
因ともなっていることを忘れてはなりません。
そして、私は幼かった頃の出来事であまり
記憶がありませんが、11年前に当時住んでい
た栃木県で東日本大震災を経験しました。そ
の時の様子を両親から聞きました。一時水
道や電気等のライフラインが全て停止し、大
変不便な生活をしいられたそうです。水に関

題材限りある水を大切に

しては、トイレで用を足すにも残っていた風
呂の浴槽の水をバケツで運んで使ったり、飲
み水として水道が使えないので、限られたパ
ツトボトルがとても貴重だったと言っているま
した。蛇口から水の出ない恐怖を、私は到底
想像できません。しかし、進む環境問題や自
然災害と密接した日本は、渇水や断水の恐れ
が十分にあるのでず。
日本火と水の関係はこれから先も続いてい
きます。未来の日本にとって水が美しい文化
として残り続けるのか、課題として後世に背
負わせてしまいかはまさに私達の世代にかか
っているのでは無いでしょうか。中学生の私
ができることはまだ微力ですが、世界的に謳
われる節水をし、限りある水資源の保護に努
めたり、異常気象を食い止めるべく地球温暖
化対策について知り実践することなどはでき
ます。水が、そして水道が、いつまでも私た
ちの暮らしを支え、日本の誇りであり続ける
よう、少しずうでも貢献していきたいです。